

# 半導体・バイオ融合集積化技術の構築の概要

## 10年～15年後に起こすイノベーションの姿

高感度バイオセンサーと大容量メモリ、無線インターフェースを融合することで、「飲むバイオセンサー」を実現し、ガンの早期診断や腸内細菌・コレステロール診断をいつでも、何処でも可能にする。

実施機関：広島大学

協働機関：エルピーダメモリ(株)

ユビキタス診断で医療を革新

